

車いすバスケットネット中継成功

【美幌】第四十四回北海道障害者スポーツ大会

(道障害者スポーツ振興協会など主催)の車いすバスケットボール競技が六日、町スポーツセンターで行われた。熱戦の様子はインターネットを通じてモバイル中継され、全国から約二万件ものアクセスがあった。

全道八チームがトーナメントで戦ったゲームでは、選手たちは機敏な車いす操作とパス回しで速攻を展開。次々とシュートを決めた。激しくぶつかり合って転倒する選手もいたが、素早く起き上

り反転攻撃を仕掛けるなど、レベルの高いプレーに観客席から盛んな拍手が送られた。

試合の様子は町などで豪・JALライブの選った審判長らによる解説

が繰り広げられることを期待していますと激励。約二万件というアクセス数に大庭町長は「多くの人の見ていただき大成功。今後、モバイル中継の活用方法をさらに検討していきたい」と喜んで

中継した。

開会式ではテレビ電話

を通じて女子バスケットにいる選手の家族からもボール社会人リーグの強豪・JALライブの選った審判長らによる解説

手たちが「白熱した試合

美幌の大会 全試合を全国へ

アクセス2万件

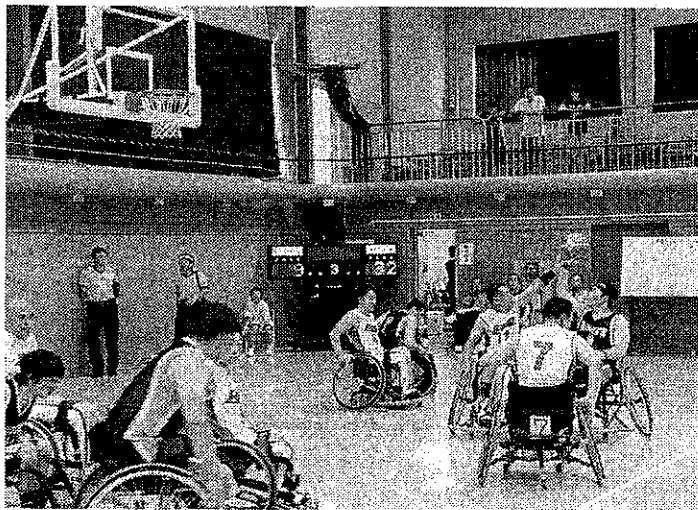
継実行委員会(委員長・大庭康二町長)のメンバー二十人がホームビデオカメラとテレビ電話機能付き携帯電話で撮影。動

画をインターネットの専用ホームページ(H.P)などのリアルタイムで配信

もの、全九試合を完全

している。

(佐藤仁)



熱戦が繰り広げられた、障害者スポーツ大会の車いすバスケットボール競技